

食品ロスは減っていくのではないかと考えており、今後も積極的に取り組んでいきたい。

一般質問 亀甲 義明 (公明党)

若者の政策形成 過程への参画

問 直近の国政選挙では、60代と20代で投票率に大きな差があり、若者の政治意識低下が顕著だが、本市での直近の国政選挙の20代、30代、60代の投票率は。

答 市全体での調査はしていないが、県への報告で任意の投票区を抽出し調査したものを報告する。平成26年12月の衆議院総選挙、20代で33.12%、30代で39.30%、60代で67.22%。25年7月参議院通常選挙、20代で28.51%、30代で36.49%、60代で66.10%。

問 若者の投票率を少しでも上げるための対策は。

答 選挙に対する出前講座を行っている。橿原高校では、過去3年にわたり出前講座を行い、生徒会選挙でも自動交

付機等を貸し出し出している。他校でも地道に出前講座を行うことが若い世代の選挙や政治への関心を深めることにつながると思うので、今後も積極的に進めていく。

問 若者の声が政治に反映されにくく、社会への影響力を実感しにくいことが若者の政治的無関心の一因と内閣府は考えているが、本市での若者の意見を聞く取り組みは。

答 若者の発想等を市の政策などに反映する考えは重要である。八木駅の周辺地区におけるまちづくりの基本構想、基本計画の検討段階で、ワークショップの開催を計画している。一般公募で市内に選挙権のある18歳以上の人を募集している。また、一般公募とは別に、本市と包括的な連携協力に関する協定を締結している奈良県立医科大学、奈良芸術短期大学に対して、それぞれ5名の学生に参加依頼をしている。引き続き、若者の視点による意見を積極的に聞きたい。

問 若者の声が届くことが大事だが、若者議会等の他市の事例に取り組み考えは。

答 色々なところでやりたい

と考えている。ワークショップや、過去には子ども議会をしており、各種のことを研究し若者が政治に関心を持ってもらえるように努力したい。



橿原高校期日前投票所

学校施設環境整備

問 平成26年9月に質問をしたが、再度、熱中症等の対策を聞かせてほしい。

答 現在小中学校では、図書室、保健室、職員室、校長室、音楽室、コンピューター室、幼稚園では職員室、園長室にエアコンを設置している。また、小中学校全ての普通教室、特別支援学級、幼稚園の保育室に平成23年度から24年度にかけて扇風機を設置している。

前回の質問以降は、温度測定も行い、基準超えの部屋があることは把握している。その後の対策は、26年度に幼稚園、27年度に小学校にミストシャワーを設置している。ほかに、すだれ、ヘチマをつくる等を学校でしている。

問 これまでのICT等も含めた学校施設環境整備は。

答 耐震補強工事を中心に行い、平成27年度に全ての小中幼の耐震化工事が完了。ICT関係は、校内無線LANの整備を計画的に行い、28年度に残り12校全てを終えるように取り組んでいる。それ以外にもボイラー室の煙突のアスベスト対策、トイレの洋式化の推進など、喫緊の課題に現在、取り組んでいる。

問 クーラーを全教室に設置する費用、また、普通教室、保育室のみに設置する費用は。

答 普通教室、保育室全てに設置すると約7億7千万円。全教室に設置すると約13億円。幼稚園の保育室は、1校当たり約180万から200万円として、各校1部屋ずつ追加で約2千万円。

問 体育後にクールダウンできる部屋、また、保育室等に

クーラーを設置できないか。

答 重点的に実施予定のトイレの洋式化の後に、かしはら元気づき基金も活用しながら取り組みたい。どの部屋にするかは、学校、園の意見も聞きながら対応したい。

問 国の補助金を使用することはできるのか。

答 国の補助金は、大規模改造工事と同時に実施する場合や、大規模的に実施する場合のみ対象。財政的にも厳しいので、基金の活用だけでなく、財源確保に向けて研究したい。

橿原市のまちづくり (新駅と八木西口駅等)

問 平成28年3月議会での一般質問の答弁から数ヶ月経過しているが、現在の本市のスケジュールは。

答 おおむね変わっていない。新駅が設置できる時期は、知事が述べられた平成33年の県立医大の新キャンパスオープン時が一番望ましいと理解している。27年12月から県、市、近鉄の三者協議を始めており、今後も三者協議の回数を重ねて、三者が共有できるプラン、スケジュールを早期に策定で